



しゃちほこだより

今回のテーマは**農福連携**です。

そもそもどんな取組なのか、矯正とどう関わっているのかなどを説明していきます。

農福連携とは??

農業側の課題

若者の農業離れが深刻であり、働き手が減少。後継者もいない...

福祉側の課題

障がい者の就職が困難。職がないことによる生活困窮...

農福連携



障がい者が農業の働き手として就業できれば、農業の働き手も確保しつつ、障害者の雇用問題も解決でき、農業、福祉がWIN-WINの関係で連携できるのでは?!



このような流れから、**農業**と**福祉**が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、「農業運営の発展」及び「農業に係る働き手の確保」とともに、障がい者の「自信や生きがいの創出」及び「生活の質向上」を目的とした取組それが「**農福連携**」です。

また、2019年に決定された農福連携推進ビジョンでは、「農福連携を、農業分野における障がい者の活躍促進の取組にとどまらず、ユニバーサルな取組として、農業だけでなく様々な産業に分野を広げるとともに、高齢者、生活困窮者、ひきこもり状態にある者等の就労・社会参画支援、犯罪・非行をした者の立ち直り支援等にも対象を広げ、捉え直すことも重要である。」と明記されました。

矯正とどう関わっている??

矯正の課題

刑事施設＝入所受刑者の**約4割**が作業能力に制約がある 少年施設＝在院者の**1/4以上**がIQ 7.9以下
(CAPAS検査による能力検査値が7.9以下)

刑務所新収容者、少年施設新収容者全体における精神障害等がある者の割合も増加傾向。
平成20年から令和4年の15年の間に、少年院では**4.5倍**、刑務所では**1.5倍**の増加。

つまり・・・

入所者等の中には、就業に配慮が必要な者が一定数存在する。

そこで、就業能力や知的能力等に制約のある受刑者、在院者を農福連携の取組に乗せ、社会での居場所と出番を確保し再犯防止に繋げるため、**矯正**と**農業・福祉**での連携がスタートしました!

連携する上での双方の課題

農業・福祉と矯正で取組を進める際に以下のような課題があげられます。

矯正で取組を進める際の課題

福祉的就労に関する理解・ノウハウがない

- ◆ 一般就労と福祉的就労の狭間にある者の特性に着目した指導のノウハウがない。
- ◆ 農福連携を行っている事業者の方とのつながりが少ない。
- ◆ 農福連携に関する知識がない。

農業・福祉で受け入れる際の課題

犯罪・非行をした者の受入れへの不安

- ◆ 触法障害者に対応するノウハウがない。
- ◆ 受け入れた後に地域住民や他の利用者から理解が得られるか心配。
- ◆ 受入れ後に再犯するかもしれないと思うと心配。
- ◆ 公的機関による継続的な援助がない。

矯正と**農業・福祉**の連携を推進していくためには、双方が抱える課題を解消していく必要がある!

お互いに、分からないことが多くあり、それが不安になっているため、まずは、お互いの取組や、ニーズを知るところから始めることにしました!



農福連携の推進に向けて以下のような取組を実施しています。

◆ 矯正と農業・福祉の関係づくり

- 農業・福祉関係者を対象とした意見交換会を実施

令和5年度には、名古屋矯正管区内の8つの施設で意見交換会を実施し、施設と関係者間での相互理解を促進。

- 矯正施設内での就農指導の実施

矯正施設に関係者を招へいし、受刑者等への直接指導を実施することによって、就農意欲を喚起する取組を実施。

- ソーシャル・ファーム就労体験等

就労体験やケース検討会を開催し、農福団体と少年院の相互理解を促進。

- 農福連携団体からの食材調達

矯正施設において、農福関係団体が生産した食材等を積極的に調達。

- 被収容者向け視聴覚教材の整備

対象者の掘り起こしと、支援に繋げるため農福連携やソーシャルファームについての情報を提供。

- 農福連携技術支援者育成研修の受講

農林水産省・地方自治体と連携し、農福連携に係る知識・ノウハウを有する矯正職員を育成。

矯正施設と農福連携団体がお互いに効果的で、持続可能な関係を構築！！



◆ 矯正施設における一般就労と福祉の狭間にある者への取組の充実

- 作業能力や職業適性等の的確な把握
- 作業能力や職業適性に応じた刑務作業・職業訓練・就労支援の充実
- 少年院の農地を活用した地域住民・農福関係団体と連携した教育活動の検討
- 在院者の院外委嘱指導の枠組み等を利用したインターンシップの導入

◆ 出所者等を受け入れた団体等に対する息の長い支援

- 法務少年支援センターの地域援助や少年院による受入れ団体等からの相談対応

◆ 誰一人取り残さない共生社会の実現に向けた

農福と連携した広報活動

- 矯正展と農福関係団体主催イベントの連携など広報活動の展開

これからも、農福と矯正の連携を推進していくために、関係機関の方々に御協力いただくことがあると思います。その際には、どうぞよろしくお願いいたします。ご質問等ございましたら、下記に連絡先にお問い合わせください！

